

大学

健康医療科学部 健康栄養学科 給食経営管理実習

持丸 由香 准教授、高清 ゆうみ 講師、
徳永 佐枝子 教授

給食経営管理をチームで実践し、
管理栄養士に必要な基礎力を固める。

大量調理機器を備えた実習室で行われる、2年次の専門科目「給食経営管理実習」。栄養アセスメント、献立作成、栄養計算、食材発注・検収、大量調理、衛生管理、原価管理、顧客管理など、給食施設で食事を提供するための作業を一通り実践します。2023年度は学生が3班にわかれて和食・洋食・中華の献立を考案し、それぞれが11月に50食、12月に100食ずつ同学科内で提供しました。実習後は班ごとに総括し、問題点や改善策を報告。計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルを軸にした実習を通して、学生は管理栄養士に必要な幅広い知識・協調性、課題解決力などを身につけます。指導教員の持丸先生は「安全で健康的な食を担う、管理栄養士の役割や使命を感じ取り、これから専門性を高めていくための基礎力を養ってほしい」と学生の学びや成長に期待を寄せています。



愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

大学

交流文化学部 交流文化学科 日本語教育実習

山本 裕子 教授

多様な国・地域の日本語学習者と向き合い
日本語を教える奥深さ、楽しさを実感。

日本語教師資格課程3・4年次の「日本語教育実習」では、学生が日本語教育の現場に立ち、様々な国・地域の日本語学習者と直接向き合いながら実践力を養います。2023年度は国内の日本語学校と台湾の専科学校にて実施されました。それぞれの実習先では、日本語の文法や発音、会話などの授業を学生が実践。台湾の実習では「日本人向け台湾観光ツアーの立案」など、楽しみながら学びを深める機会も用意しました。この教育実習を担当するのは、日本語教師として経験豊かな山本先生です。「学習者の実際の反応を見ながら、一人ひとりに合った指導方法や学習支援を試行錯誤することが、日本語教師をめざす学生にとって貴重な学びになります。そして、学習者との交流を通して視野を広げ、日本語を教える楽しさを感じてほしいと願っています」と山本先生は学生にエールを送ります。

